

国内民間初 宇宙到達

ISTのMOMO3号機

大樹から打ち上げ成功



轟音を上げながら、宇宙空間へ飛び立つMOMO3号機（4日午前5時45分ごろ、新井拓海撮影）



発行所:十勝毎日新聞社
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
電話(代表)0155-22-2121

号外

MOMO(モモ) 高度100キロを
目指すISTの観測ロケットのコード
ネーム。「100の訓読みになむ。地球の周りを
回る人工衛星を打ち上げるロケットと異なり、
高度100キロに到達後は海上に墜トし、
約4分間の微少重力空間をつくりだす。MOMO
も観測や広告など商業利用できるが、MOMO
を足掛かりにした人工衛星の軌道投入
機開発と事業化を目指している。

【大樹】町内のベンチャー企業インターステラテクノロジズ(IST、稲川貴大社長)は4日午前5時45分、町浜大樹の実験場から観測ロケット「MOMO(モモ)」3号機を打ち上げた。速報値では高度100キロ以上まで機体が到達し、大樹沖の海上に落下したとみられる。2017年7月に打ち上げた初号機と昨年6月打ち上げの2号機では果たせなかった宇宙空間(高度100キロ以上)到達を、民間単独開発のロケットとしては国内で初めて成し遂げた。

十勝毎日新聞
未購読の方
7日間無料
お試しできます
お申し込みはお電話で
フリーダイヤル ニッコリ サンキュー
☎0120-25-3999
またはWEBで
とかちシーオー・ジェイビー/はんばい
www.tokachi.co.jp/hanbai/
いつでもどこでも最新の「勝毎」
勝毎 電子版 kachimai.jp/